

議 事 録

1. 会議の名称	池田市文化財保護審議会 歴史文化基本構想専門部会		
2. 開催日時	平成29年5月30日（火） 午後1時00分～午後2時45分		
3. 開催場所	池田市役所 6階第4会議室		
4. 出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈委員〉 室田卓雄会長 印藤和寛副会長 仙海義之委員 吉田高子委員</p> <p>〈専門委員〉 井殿恵二委員（元石橋南小学校校長） 岡本尚子委員（不死王閨女将） 津田信幸委員（八坂神社宮司） 中田にぎわい戦略室長兼空港・観光課 課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長 田中歴史民俗資料館館長</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈事務局職員〉 田渕教育長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 中西生涯学習推進課主幹 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事 関根生涯学習推進課学芸員</p> <p>〈オブザーバー〉 宮前保子氏（(株)スペースビジョン研究 所取締役所長）</p> </td> </tr> </table>	<p>〈委員〉 室田卓雄会長 印藤和寛副会長 仙海義之委員 吉田高子委員</p> <p>〈専門委員〉 井殿恵二委員（元石橋南小学校校長） 岡本尚子委員（不死王閨女将） 津田信幸委員（八坂神社宮司） 中田にぎわい戦略室長兼空港・観光課 課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長 田中歴史民俗資料館館長</p>	<p>〈事務局職員〉 田渕教育長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 中西生涯学習推進課主幹 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事 関根生涯学習推進課学芸員</p> <p>〈オブザーバー〉 宮前保子氏（(株)スペースビジョン研究 所取締役所長）</p>
<p>〈委員〉 室田卓雄会長 印藤和寛副会長 仙海義之委員 吉田高子委員</p> <p>〈専門委員〉 井殿恵二委員（元石橋南小学校校長） 岡本尚子委員（不死王閨女将） 津田信幸委員（八坂神社宮司） 中田にぎわい戦略室長兼空港・観光課 課長 北脇環境政策課課長 脇尾まちづくり・交通課課長 田中歴史民俗資料館館長</p>	<p>〈事務局職員〉 田渕教育長 田上教育部次長兼生涯学習推進課課長 中西生涯学習推進課主幹 細谷生涯学習推進課主幹 芝原生涯学習推進課主事 関根生涯学習推進課学芸員</p> <p>〈オブザーバー〉 宮前保子氏（(株)スペースビジョン研究 所取締役所長）</p>		
5. 欠席者	清基英昭委員 橘高和明委員 吉原忠雄委員		
6. 議題	池田市歴史文化基本構想について ほか		
7. 議事経過	別紙のとおり		
8. 公開・非公開の別 ※非公開の理由	公開		
9. 傍聴者数	0名		

開 会

・田淵教育長挨拶

案件1 池田市歴史文化基本構想について

事務局 昨年度、「池田市歴史文化基本構想」を策定することができ、あらためてお礼を申し上げます。今年度は、この構想について、市民への意向調査などを通して、内容の充実を図っていく予定。

オブザーバー 昨年度歴史文化基本構想を策定したが、市民の意向調査が十分にできていなかったため、今年度はまず、市民の意向把握を考えている。1点目は、市民へのアンケート調査。2点目は、関連文化財群の所有者やまちづくりの担い手への聞き取り。市民の意向を把握した上で、歴史文化を活用したまちづくりを検討し、歴史文化基本構想の充実を図る。その後、歴史文化保存活用区域や歴史文化保存活用計画を検討する。

会長 市民意向調査のアンケート調査の対象は。

事務局 現在考えている案は、確実に意見を集めるために、地域コミュニティ推進協議会の会長を通して行う方法。

委員 歴史文化基本構想に対して、歴史文化保存活用区域・歴史文化保存活用計画の位置づけは。

オブザーバー 構想を実現するために、保存活用区域・保存活用計画の設定をする、というところで昨年度は終わっている。

委員 区域や活用計画の策定にむけて歩み始めるなら、どうやって市民に投げかけ、情報提供してもらうかをこの場で考えることが必要。

会長 意向調査の内容も歴史文化基本構想自体も一般市民には難しい。分かりやすい質問や項目にすべき。そしてアンケートの前に、まずは、歴史文化基本構想自体を全市民に知らせる必要がある。

委員 歴史文化基本構想の内容を集約した分かりやすいものを市民に伝えて、そこから、「どう思うか」を聞く。そのほうが意見をもらいやすい。歴史文化に対する盛り上がりの中で、市民の意見が醸成されてゆくのではないか。

オブザーバー ご指摘のとおり、前段に「歴史文化遺産とは何か」という例示をつけてアンケートを実施したい。

委員 そもそも目的を市民に理解してもらわないといけない。観光発展のためのものなのか、池田市の歴史的価値を高めるためのものなのか。例えば観光のためだとすると、それがプラスになる人もマイナスになる人もいる。だからこそ多くの市民の意見を聞くことが必要になる。

オブザーバー 歴史文化基本構想は、本来的には、指定も未指定も含めた文化財の保護や継承の方法だけではなく、外に向けてアピールするといった活用をも考えるもの。保存と観光の両輪が回るのが理想。

委員 昨年度策定の歴史文化基本構想だが、よほど関心が強くなければわざわざ読まない。小学生でも、歴史に興味がない人でも読めるような分かりやすいものにする。そのためにはテーマを絞ることも必要。

委員 歴史文化基本構想について、概略版を作れば良いのでは。ストーリーを組み込んだり、地図を差し込んだり、できる範囲でやれば良い。アンケートの際には、それを一緒に配布すれば分かりやすい。作業や予算の都合はあると思うが、事務局には前向きに取り組み、実現してほしい。

事務局 時間があまりないが、簡易版をHPで公開する等は実現できるかもしれない。意向調査は、分かりやすいものにする。なお、コミュニティ推進協議会を通すと、地域へ話も通しやすく、あわせてHP等で発信すると、さらに意見が集まるのではないかと考えている。

副会長 事例を挙げるなど、答えやすいアンケートに。なお、文献史料は普段、市民からかけ離れたところに保存されているだけなので、これを機に資料館で展示等をしては。

委員 意向調査は、学生による聞き取り調査等を取り入れてみては良いのでは。

事務局 市民意向調査の内容やパンフレットの作成等に関して今一度考える。とりあえず文化財所有者等へアンケートを実施し、どういったものが集まるかを見る。

閉 会